※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０００１

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ファッション造形基礎（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・被服材料の特徴を学び、作品製作に適した素材が選択できるようになる。
・自分の体型や好みに適した型紙を選択できるようになる。
・基礎的な裁縫技術を身に付け、作品製作に応用できる実践力をつける。

２　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ファッションの造形を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(１)被服の構成，被服材料の種類や特徴，被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
(２)被服製作やデザインに関する課題を発見し，ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(３)衣生活の充実を目指して自ら学び，ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	被服の構成，被服材料の種類や特徴，被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身につけている。	被服製作やデザインに関する課題を発見し，ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。	衣生活の充実を目指して自ら学び，ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4 ・ 5 月	ミシンの使用方法・被服の素材・バッグ製作	・ミシン、ロックミシンの使い方 ・繊維について ・被服材料の選択 ・トートバッグの作り方 ・まちの作り方 ・スナップボタンの取り付け方	a:繊維・糸・布と，素材の違いによるそれぞれの特徴，それらの加工を理解している。 トートバッグの構成や、用具の適切な使用方法，布地の性質や扱い方，縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している。 b:様々なシチュエーションに対して適切な衣服材料を選ぶことができる。 製作したい衣服に合わせた素材選びを行うことができる。 布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方，地直しを考えることができる。 c:制作の準備として，基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしている。	実習	ワークシート 実習	レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

6・7・8・9月	ハーフパンツ製作	・立体構成と平面構成について ・採寸の方法 ・型紙の作り方 ・パンツの作り方 ・ポケットの作り方 ・丈のアレンジ方法	a:立体構成衣服の製作過程で必要なパターンや，平面構成衣服の特徴を理解している。 ハーフパンツの構成や，用具の適切な使用方法，型紙の種類，布地の性質や扱い方，縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している。 b:自分の身のまわりの服の特徴をみて，立体構成衣服か平面構成衣服かを分けることができる。 ハーフパンツを制作するためにどの布地が適切かを考えることができる。また，選んだ布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方，地直しを考えることができる。 c:人体に合わせて立体的に作られた立体構成衣服と，人が着用することではじめて立体的になる平面構成衣服の特徴の対比に関心を持ち，衣服の構成に関心をよせている。 素材・デザインを決定し，型紙を作成，裁断・縫製を行い，形としてつくりあげる一通りの製作過程を意欲的に計画している。	実習	ワークシート 実習	レポート 振り返りシート
10・11・12・1・2月	フード付パーカー製作	・パーカーの作り方 ・ファスナーの付け方 ・フードの付け方	a:フード付きパーカーの構成や，用具の適切な使用方法，型紙の種類，布地の性質や扱い方，縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している。 b:フード付きパーカーを制作するためにどの布地が適切かを考えることができる。また，選んだ布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方，地直しを考えることができる。 c: 素材・デザインを決定し，型紙を作成，裁断・縫製を行い，形としてつくりあげる一通りの製作過程を意欲的に計画している。	実習	実習	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度